

新しい船出を迎えて：理工学府の新設



工学研究院長 渡邊 正義

工学研究院・工学府にとっての今期の最大のニュースは、平成30年度設置予定で文部科学省に認可申請を行っていた理工学府がこの度正式に認可され、平成30年4月より発足することになった事でしょう。

工学部から理工学部への改組は平成23年に行われましたが、さらなる高度な教育研究を担う理工学府は、工学府を発展的に解消して発足することになります。理工学府では、継承すべきものづくりの根幹の科学技術の更なる発展に貢献するとともに、Society 5.0 などから予見される、これからのものづくりにおいても中心的、先導的に貢献できる人材の育成を目的としています。我が国における製造業の国際的卓越性は、従来から生産現場における生産性の質と量の優位性に大きく依拠してきましたが、これら従来型の産業構造に、特にイノベーションによる産業力の更なる強化発展が強く求められているからです。具体的には、近年、産業振興が著しい情報通信技術、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、グリーンテクノロジーなどの先端技術に関わる分野では、これまで産業の発展を支えてきた工学に加えて、理学に立脚し、理学を包含した新たな理工学の技術的取り組みが必要だからです。本学が位置する横浜・神奈川には、最先端の公的研究所や民間企業等が数多く存在し、各産業分野から本学に期待が寄せられているイノベーションの創出を担う人材育成を実現することも期待されます。

理工学府の設置によって、これまでの工学の学位に加えて、化学、物理、数学の領域では理学の学位を出すことが可能となります。また理工学府が提供する科目は、横軸として情報系科目群、理学系科目群、工学系科目群、実務系（プロフェッション）科目群という4種類に、縦軸として学府共通科目、専攻共通科目、専門科目という3種類に分類され、分かり易く学ぶことができます。情報系科目の履修は全員が必須となり、工学系の学生も理学系科目を学び、理学系の学生も工学系科目を受講することにより、幅広く柔軟な発想が出来る人材を育てます。緑あふれる常盤台キャンパスで世界中から集った仲間と共に伝統ある“名教自然”の理念のもとに教育研究に邁進し、実践的研究の拠点となるとともに、社会のリーダーとなる学生を育てていきたいと思っています。